



# 11月園だより

ようとう保育園

Tel:028-612-2461

2022年10月27日



## 行事予定

- 2日 尿検査①
- 18日 さくら組保育参観  
(もちつき)  
尿検査②
- 22日 避難訓練
- 25日 さくら組食育遠足  
誕生会
- 28日 消防訓練



日が暮れるのが一段と早くなり、朝晩の冷え込みに晩秋の気配が深まる頃となりました。秋空を見上げて雲の変化に気づいたり、園庭でトンボを追いかける姿も見られます。散歩先では、色とりどりの落ち葉やドングリ、まつぼっくりなどを拾って嬉しそうに集めながら、自然に触れる楽しさを感じているようです。

秋から冬へ変わりゆくこの頃。衣服を調整しながら、一段と寒くなる季節に負けず、元気にたくさん体を動かしながら戸外あそびを楽しんでいきます。気候に合わせて心地よく過ごせるような衣服のご用意をお願い致します。

※毎月、各クラスの前月の子どもの姿、今月のねらいを紹介します。「ようとう保育園」ホームページのブログやギャラリーも併せてご覧ください。

### つくし組

「一緒にナイナイしよう」と保育士が声掛けをすると、玩具を元の場所に戻そうとしたり、「ナイナイ」と言葉を発しながら保育士に渡すなど一人ひとりはりきっている姿が可愛らしいです。みんな戸外あそびが大好き！歩いて探索活動をし、マンサクの木の裏から“いないいないばあ”をしながら顔をのぞかしています。築山・芝山登りでは、自分で登れたことを喜び、すべり台に興味を示して保育士と一緒に挑戦しています。衣服が黒くなるくらいダイナミックにあそんでいるので、怪我に注意しながら一人ひとりの興味や発達に合ったあそびを楽しめるようにしていきたいと思えます。

〈ねらい〉

散歩を楽しんだり、戸外あそびで体を動かし、探索活動を十分に楽しむ。

### たんぼぼ組

「おそといくよ」の合図と共に帽子、靴を身につけ、元気よく外へ飛び出すと、タイヤ登りやボールあそび、探索活動などの好きなあそびを見つけながら、戸外あそびを楽しんでいます。また「トンボいるね」「はっぱあったよ」など少しずつ自分の言葉で伝えようとする子も増え、この季節ならではの雰囲気を感じながら、友だちや保育士へ伝える姿に、日々成長を感じています。

保育士や友だちと言葉のやりとりをする楽しさを味わえるように、足りない言葉を補いながら仲立ちをしていきたいと思えます。

〈ねらい〉

保育士や友だちと一緒に体を動かすあそびを楽しむ。

### つばめ組

園庭であそぶことが好きで、早番の部屋(たんぼぼ組)から部屋に戻ると、トイレを済ませ帽子を被りウキウキして戸外に行きます。園庭に落ちている落ち葉を拾っては「おばけ作って」と保育士に落ち葉を差し出し、作ってもらって嬉しそうな表情で友だちに見せては「きゃ〜おばけ〜」と楽しんでいます。保育士が落ち葉のおばけを使い影絵に誘うと、地面に映るおばけを捕まえようとする姿も見られます。トンボが飛んでいたたり、ドングリの実がなっていたり秋の自然に気づき、保育士に知らせてくる子どもたちと一緒にいろいろなあそびを楽しんでいきたいと思えます。

〈ねらい〉

簡単な身のまわりのことを自分でしようとする。



## クラスの様子

### うぐいす組

給食ではすべての配膳に挑戦！お茶や汁物を両手で持って、こぼさないように真剣な表情で運んでいます。着替えでは「先生、これで合ってる？」とシャツの前後を意識したり、鏡を見ながら顔の汚れを確認している子も。一人ひとりの頑張りを認め、自分でできる喜びを感じられるようにしています。

へビ鬼や色鬼、コロコロドッジボールなどのルールも、年上の子たちと一緒にやってみると少しずつ理解できる子も増えてきました。引き続き経験を重ね、ルールのあるあそびを通して、友だちとの関わってあそぶ楽しさを伝えていこうと思えます。

〈ねらい〉

簡単なルールのあるあそびやイメージをもったあそびを通して、友だちと関わる楽しさを味わう。

### ふじ組

さわやかな秋晴れの日に、24名全員で遠足へ。「あと何回寝たら？」「お弁当何にしようかな？」とずっと心待ちにしていましたね。大きなバスに揺られ、ウキウキワクワクが止まらない子どもたち。乗り物に乗ったり、いろいろな動物を近くで見られ、エサやりも体験でき大興奮でした。そして待ちに待ったお弁当の時間。フタを開けたとたん「見て見て！」「かわいい！」「どれから食べようかな？」と友だちと見せ合っていました。外で食べる気持ち良さに特別感も味わえたようです。約束を守って行けたこと、自分の力で最後まで歩いた姿を見て、少しずつ心と体が強くなってきていることを感じました。

〈ねらい〉

友だちと一緒に、思いきり体を動かしたり、ルールのあるあそびを楽しむ。

### さくら組

自分たちで固さを調節しながら土で形を作り、落ち葉や枝、小石を飾ってケーキやパフェに見立てカフェが開店。「入口で消毒してください」「支払いはアプリで」などといった会話にリアルさがある、日常をよく観察しているなど感心しています。他のクラスの友だちや保育士も呼び込み、一人ひとり丁寧に接客しているカフェごっこはしばらく続きそうです。

ハロウィン制作では、毛糸を穴に通しての蜘蛛の巣作り。毛糸が緩んだり、からまったりしながらも最後まで真剣に取り組み、個性的な作品を仕上げることができました。

〈ねらい〉

友だちと共通の目的に向かって考えを伝え合いながら、あそびや生活を進めていく。